

協働事業評価シート

部課名	市民部 男女共同参画課
団体名	一般社団法人 参画社会地域フォーラム

平成26年度

予算事業名	男女共同参画推進（協働委託事業）
-------	------------------

新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
--

協働事業名称	男女共同参画講座		
協働事業の概要	男女共同参画に関する理解の向上と意識啓発を図るとともに、男女共同参画を推進する人材の発掘・確保・育成に協働して取り組むことを目的とする。 男女共同参画の正しい理解と意識啓発に関する講座を3回実施する。（1回あたり1.5～2時間程度）		
協働事業の決算額	110,000円（委託額）	円 ※委託額及び補助金額を記載	
事業の実施期間	平成26年8月29日 ～ 平成27年2月27日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中	3	3	3
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中	4	4	4
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	4	4	4
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	3	3	3
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	3	3	3
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	4	3	3.5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	4	4

合計点数	24.5点
------	-------



平成27年1月25日
女性活動支援のひろば研
修室（クラッセ川越5
F）

講師:皆川満寿美氏
:男女共同参画政策の推進
と女性運動の役割
～実りある協働のために
～
講座の様子

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

・男女共同参画の講座や研修会は、参加者が固定化しており啓発という観点では、新たな客層の取り込みが重要です。今回の講座では例年より新規の方が多めでしたが、性別・年齢層に関わらず男女共同参画に興味を持ってもらえるような事業をおこなっていただきたい。

【市民活動団体等】

・企画・運営側としては、前年の提案型協働事業「検定講座」の修了生4～5名が常に受付等のお手伝いをしてくれていて、若手の人材育成になっている。

しかしまだ企画・運営業務にはまだ役立たない面もあり、特定の人に負担がかかっているのが、内部的には満足できていない。一方、市(男女共同参画課、市民活動支援課)との協働の面では、講演タイトルの一部変更、特に、企画・運営側として一番苦しい時であった第3回目の講師の変更に関して柔軟に対処してくれたことには、とても感謝しています。お陰で講座全体として男女共同参画の基礎知識から最新情報まで提供出来たと思います。

参加者数も常に20名以上であり、かつリピーターだけでなく新規参加者が多数あったことは収穫でした。今回の協働事業には満足しています。来年度の協働事業のより円滑化に向けてよい経験になった。

協働事業のメリットについて

川越市が協働事業として企画・運営を委託しているこの講座は、次のような効果があると思います。

- ① 講座参加者に対しては男女共同参画に関する理解の向上と意識改革に直接的につながっている。
- ② また企画・運営の市民団体の特性を生かした「男女共同参画を推進する人材の発掘・確保・育成」につながっている。(昨年当法人が提案型協働事業として実施した「男女共同参画検定講座」の若い研修修了者6人が現在この講座の事業に加わって活動している)
- ③ 男女共同参画の推進活動を行っている市民団体の育成につながっている。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

		評価結果
A	0名	B
B	7名	
C	3名	
D	0名	

【事業に関するコメント】

別添により記入

【事業に関するコメント】

- ・講座形式により事業を行うやり方は、男女共同参画推進事業では典型的なものと思いますが、そろそろこのようなやり方が男女共同参画推進に本当に有効なものなのかどうかについて、根本的に考えてみてはどうでしょうか。
- ・3回の講座のどれも参加者数が少なく、原因を考える必要があると思います。男女共同参画とは推進者や指導者を育成するものでなく、広く一般の人が共に考えるべきものですので、基本方針に少しずれがあるのではないのでしょうか。
- ・講師陣は大変立派な方たちばかりなので、集客にもっと力を入れて欲しいです。
- ・企画内容は大変重要ですが、その部分の評価が低かった点が気になります。またアンケート結果があれば、今後の事業の改善や見直しにつながると思いますので検討してください。男女共同参画は参加者集めに難しいものでありますので、ニーズをとらえ興味が沸く内容や広報をして、頑張っていたきたいと思います。
- ・企画力が参加者数に反映しやすい事業なので常に工夫が必要だと思います。。
- ・講座内容に少し隔たりがあるのではないのでしょうか。女性の視点から政治や選挙を見過ぎていているように思います。日本には古来からの風習や政治への取り組みがあり、世界全体と比べるよりも、そのことを少しづつ両性が理解を深めながら是正していくことが必要であり、両性の特性を生かしながらの社会生活はどうあるべきかを皆で考えることが重要だと思います。また、このような講座は男性参加者が少ないので、その点も考える必要があると思います。

協働事業評価シート

部課名	市民部 男女共同参画課	平成26年度
団体名	NPO法人 武蔵観研	

予算事業名	男女共同参画推進（協働委託事業）	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
-------	------------------	--

協働事業名称	男女共同参画情報紙発行事業		
協働事業の概要	男女共同参画社会の形成を目指し社会的機運を醸成するため、男女共同参画に関する情報を幅広く提供し、意識改革への働きかけを積極的に行うことを目的とし、情報紙を発行する。 男女共同参画情報紙「イーブン」40号 9月発行 5,000部 男女共同参画情報紙「イーブン」41号 3月発行 5,000部		
協働事業の決算額	610,000（委託額）	円 ※委託額及び補助金額を記載	
事業の実施期間	平成26年8月7日 ～ 平成27年3月31日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中	4	4	4
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中	4	5	4.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	4	4	4
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	4	4	4
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	4	4	4
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	4	4	4
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	4	4

合計点数	28.5
------	------



男女共同参画紙
「イープン」40号表紙
(5,000部印刷)

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

- ・昨年度に引き続きの受託であったが、編集者の変更があったため、記事への切り口が異なりとても興味深かった。
- ・情報紙を受託していることもあり、研修会などに積極的に参加していました。団体として男女共同参画に対する見識が深められたと思います。

【市民活動団体等】

男女共同参画情報紙は啓蒙という意味合いがあるので、市民に読んでもらえるよう文字を大きくしたり、特殊性をおさえたりして「やさしく、ためになる」をモットーに作成した。
この協働事業は、取材、インタビュー、撮影、原稿作成、編集、割付、用語の適否、またICT（情報通信技術）など高度の専門性と知識が必要な時代の最先端を行く事業であり、全国の関係者の知が結集できれば、成果はさらに高まると考える。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

			評価結果
A	2名	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	B
B	5名	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	2名	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	1名	協働事業としてうまく機能しなかった。	

【事業に関するコメント】

別添により記入

【事業に関するコメント】

- ・情報紙の内容は良いと思います。
- ・男女共同参画の正しい理解と意識啓発、情報提供を目的として編集されたということですが、その感想や内容等はどのようなものでしょうか。また、部数は多いことではないでしょうか。
- ・団体として見識を深められた事が、紙面にも如実に反映していると感じました。男女共同参画関連の催しの報告も興味はあったが、出席・参加できなかった方たちには好評です。民間企業や病院名を表紙に大きく載せることは、「関係者の読者が増える」というメリットもあるが、「公報という観点から、いかがなものか」と、賛否両論があると思います。
- ・読みやすい内容にした点は評価できます。ただ意識改革を目的としていますが、情報紙の発行だけで成されるのか疑問に思います。協働事業として行う必要性を見つけて欲しい。
- ・40号に関して紙面上は昨年度より改善が見られたものの改善点があります。年間2回発行なら年度で考慮して8月、2月にするなど、年間計画をまずしっかり策定すべきでしょう。また、感想の「全国関係者の・・・」という表現がありますが、川越独自の企画をして行くのが地方情報紙の第一の役割ではないでしょうか。
- ・収支報告は必要です。3月発行の情報紙を見ていないので詳しいことは分かりませんが、男女共同参画の性質上、もう少し誰でも手に取って見れるように工夫が必要だと感じます。

協働事業評価シート

部課名	市民部 男女共同参画課
団体名	川越市女性団体連絡協議会

平成26年度

予算事業名	男女共同参画推進
-------	----------

新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
--

協働事業名称	イーブンライフin川越		
協働事業の概要	○イーブンライフin川越の開催 1. 開催日 平成26年11月29日(土) 2. 会場 川越市やまぶき会館中ホール 3. 内容 講演 講師 仲島正教氏(教育サポーター) 演題 「あーよかったなあなたがいて ～「優しさ」という温かい貯金～」 4. 来場者 119名		
協働事業の決算額	300,000	円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成26年 7月31日 ～ 平成26年12月26日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	①補助・助成 ②共催 ③協働委託 ④後援 ⑤情報交換・情報提供 ⑥実行委員会・協議会 ⑦事業協力 ⑧企画・計画立案への参画	③

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた(5点) ・よくできた(4点) ・できた(3点)
 ・あまりできなかった(2点) ・全くできなかった(1点)

No.	評価の視点	実施段階	評点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中	4	4	4
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中	5	4	4.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	4	4	4
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	3	4	3.5
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	4	4	4
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	3	4	3.5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	4	4

27.5

合計点数	27.5点
------	-------



○「イーブンライフ in 川越」講演会の実施状況

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

受託者は、今年は会長の指揮の元、事業を実施していた。来場者が少なかったことについては、雨の影響もあるが、PR方法等検討の余地があったと感じた。講演会は市民目線でわかりやすく、来場者の評価もとてもよかった。来年は、今年とは状況が変わる部分もあるかもしれないが、運営方法等、今年の教訓で活かせるところは活かして、来年の事業の成功につなげたいと思う。

【市民活動団体等】

イーブンライフの関心度は深まってきたと思いますが、チラシの配布方法、幅広い年代層に関心のあるテーマ、講師の選定が今後の課題だと思います。
 今回は当協議会の関連事業の場において、できるだけPRしてきましたが、思ったような結果に繋がりませんでした。
 救いは来場者は少なかったが、アンケート集計表より満足度が好評だったことでした。
 今後は、今回のイーブンライフの反省をふまえて、更によりよい結果を出せるようにしたい。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

			評価結果
A	1名	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	B
B	6名	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	2名	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	0名	協働事業としてうまく機能しなかった。	

【事業に関するコメント】

別添により記入

【事業に関するコメント】

- ・多数の来場者の確保策に工夫が必要です。
- ・仲島先生のわかりやすい講演で大変役立ったと思いましたが、委託事業としては来場者が余りにも少ないです。講演内容やPRについて行政と受託団体が連携し、様々なことを話し合い実施していかないと事業目的が果されないのではないのでしょうか。また、男性も気軽に参加できるよう検討してください。
- ・全国どこへ行っても男女共同参画の講演会が開かれています。実際にはさまざまなハウスメイトに悩む人には、その声が届いていないと感じています。ある程度理解している人、関与している人が集まって”良かった”と言っているのはいけない段階に来ていると思いますので、基本に立ち返ることを忘れないで欲しいと思います。
- ・事業費30万円を考えますと、(15万円の事業費で来場者が多い同様な講座があるので)判定に苦慮します。反省点を踏まえ、今後の活動に活かしてください。
- ・アンケート内容から、とても満足感があつたことが伝わりました。ただ来場の人数や協働事業としての役割分担、信頼関係に課題があるようです。今後は課題解決を意識し、事業に取り組んでもらいたい。今回の参加者からの声を広報(チラシ等)に掲載してはどうでしょうか。

協働事業評価シート

部課名	市民部 男女共同参画課	平成26年度
団体名	川越市女性ネットワーク	

予算事業名	男女共同参画推進（協働委託事業）	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
-------	------------------	--

協働事業名称	男女共同参画市民フォーラム		
協働事業の概要	男女共同参画市民フォーラム：男女共同参画の様々な問題に対して、専門的な知識を持った講師による講演会(2時間程度)等を1回開催。男女共同参画社会の実現を図るため、男女共同参画の正しい理解を深めるとともに意識啓発を行う。「男女共同参画週間(6月23日～29日)」にちなみ実施する。		
協働事業の決算額	150,000円（委託額）	円 ※委託額及び補助金額を記載	
事業の実施期間	平成26年5月9日 ～ 平成26年8月29日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中前	4	4	4
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中前	5	4	4.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	4	5	4.5
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	5	5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	33点
------	-----



○市民フォーラムの実施
状況
場所：川越駅東口多目的ホール
内容：私らしいエンディング！
今から準備～そして安心

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

昨年同様、随意契約で実施団体を決定できたため、時間的な余裕があり、スムーズに事業を行うことができた。

男女共同参画に関する講演会の客層は、ほとんど女性であるが、今回は以前に比べ男性の参加者が多かった。ただし、テーマに起因するところはあるが、若年層の参加はなかった。

【市民活動団体等】

”今” に添ったテーマ を取り上げた。講演会において「テーマ」と「講師」選択が集客数に大きく影響することを改めて実感した。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

			評価結果
A	3名	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	B
B	6名	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	1名	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	0名	協働事業としてうまく機能しなかった。	

【事業に関するコメント】

別添により記入

【事業に関するコメント】

- ・今年がテーマが「私らしいエンディング」であるので、若い人の来場はあまり期待できませんでしたが、来年度以降テーマに応じ若い人の来場を確保するよう工夫をこらして欲しいと思います。
- ・テーマが時代にそった内容であり、事例を挙げながら話されたので聞く側も素直にとらえることができました
- ・講演内容は最近メディア等で取り上げられ、高齢世代には受け入れやすいものであると思いますが、男女共同参画の意味合いからするとズレがあるように感じます。特に男女共同参画週間に実施するので、40～50代の男性が気軽に参加できる工夫も必要かと思います。
- ・これまでの男女共同参画事業と少し異なるテーマの講座だったことが評価されると思いますが、土曜日の午後、駅から近い会場と好条件の中で128人の参加というのが評価が難しいです。開催にあたり、どの程度の動員を目標とするかを最初の事業計画で明らかにすることも(他事業もふくめ)必要です。

協働事業評価シート

部課名	こども未来部 こども政策課	平成26年度
団体名	NPO法人川越子育てネットワーク	

予算事業名	次世代育成支援対策行動計画推進等	新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
-------	------------------	--

協働事業名称	子育て情報誌作成	
協働事業の概要	子育て中の方やこれから子育てする方が安心して子育てができるよう、行政の制度、各種相談窓口、出産・子育てに関する情報などを紹介するための情報誌を作成するものである。	
協働事業の決算額	77,000 円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成26年6月30日 ~ 平成27年3月31日	

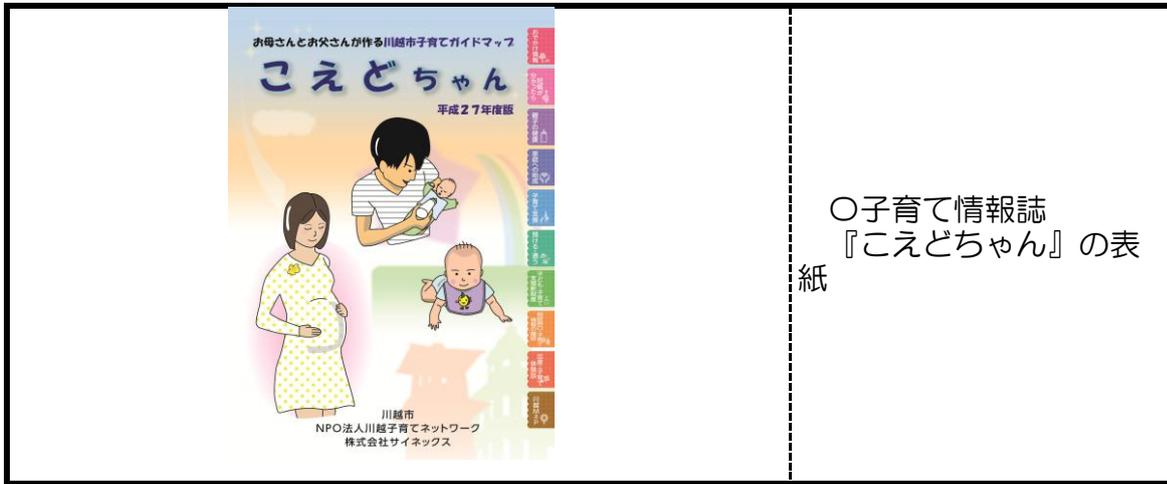
協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評 点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中	4	5	4.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	5	5	5
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	4	4.5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	34点
------	-----



○子育て情報誌『こえどちゃん』の表紙

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

当事業は今回で13版目となる子育て情報誌の作成を行うもので、子育て当事者と行政双方の視点から子育て情報を掲載し、持ち運べる冊子として情報を提供することで、子育てを支援するものである。

今年度からは、官民協働事業として編集印刷等を担当する民間事業者と協定を締結し、3者での事業実施となった。また、本協定により発行部数を19,500部に増やすことができ、未就学児のいる世帯へ広く情報誌を配布できるようになった。

一方、編集作業を外で行うことから、原稿作成に裂ける時間を十分に設けることができなかつたため、来年度作成時には協定を早めるなどとしてスケジュール調整が必要である。

部数を増やしたことに伴い、本誌の利用者層も変化することが予想されるため、今後も市民活動団体と意見交換をしニーズを把握しながら本誌の一層の充実を図りたい。

【市民活動団体等】

今年度の作成より、全国で行政情報誌を手掛ける企業が加わった。行政に加えNPO法人が加わっての3者での製作は全国でも珍しい試みなのではないかと思う。

全ページフルカラーで見やすく、且つ発行部数19,500部は未就学児のいる全世帯に配布できる数で、多くの人へ情報が届けられるのは大変嬉しいことである（前年度は8000部）。

ただ、参加者からは原稿締切までのスケジュールがハードだったという感想があったこと。また、もっと時間があれば当事者のニーズを拾いながらの作成ができるのではないかと考える。協働の契約を交わしてから動き出すのが7月以降になってしまい、そこから募集をかけるのでスケジュールがタイトになってしまう。

4月から事業が開始出来れば、もう少し余裕を持って取り組めるので、契約時期を早めていただけるとありがたい。また、今回は手を付けられなかった部分も組込むことができ、更に充実した内容で作成できると思われる。

今後もさらにニーズを把握しながら、もっと読み易く、子育ての役に立つ情報誌となるよう協議していきたい。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

			評価結果
A	9名	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	A
B	0名	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	0名	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	0名	協働事業としてうまく機能しなかった。	

【事業に関するコメント】

別添により記入

【事業に関するコメント】

・『こえどちゃん』の内容は分かり易く、かつ、現に子育てをしている者及びこれから子育てをする者が知りたいと思っている出産・子育てに関する情報がほぼ洩れなく記載されており、素晴らしいと思います。

・長年の積み重ねの結果、内容が充実しとても良くていきます。カラーで発行部数も増えたこととても良かったと思う。感想の中にも書かれていたが、新しいニーズの把握も絶えず行い、飽きない情報誌の作成を続けて欲しいと思います。

・発行部数が増えたことが第一歩に喜ばしいです。こういう事業こそ”今”ニーズがあるものです。市民の力だけでは難しいこともあり、協働でやるべきものだと思っていましたが、編集印刷すべてをママたちがやるのは大変だろうと考えていたので、業者が入ったのも良かったと思います。

・発行部数が増え、読者に役立ち、作成に参加した方たちの自己肯定感が得られるなど、大きな効果が出ている事業であると感じます。

・子育て情報誌「こえどちゃん」は若いお母さんに情報源として心強い味方となると思います。

協働事業評価シート

部課名	こども未来部 こども育成課
団体名	NPO法人川越子育てネットワーク

平成26年度

予算事業名	地域子育て支援事業
-------	-----------

新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
--

協働事業名称	子育て支援事業「つどいの広場」		
協働事業の概要	子育て中の親子が気軽に集える場の提供として設置する「つどいの広場」を運営し、地域における子育て支援を図ることを目的とする。		
協働事業の決算額	1,975,000	円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間			

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	5	5	5
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	5	5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	35点
------	-----



○「つどいの広場」での読み聞かせの様

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

「つどいの広場」では、助産師、保育士、医師等専門家による相談も行っており、利用者である子育て中の保護者が悩みを気軽に相談できることから、大変好評を博している。また、利用者同士の子育てに関する悩みの共有ができ、リフレッシュが図れることから、平成25年度1日平均約25組から、26年度1日平均約35組と利用率が約7割増加している。

また、父親の参加についても増えており、家庭内におけるワークシェアリングにも寄与していることが伺える。

今後も、より地域に根差した、誰もが利用しやすいつどいの広場となるよう、市と団体とで更に意見交換をしながら事業を推進していきたい。

【市民活動団体等】

本事業の運営は丸6年となる。

スタッフも長年の運営で利用者の気持ちに添った対応がスムーズにできるようになってきた。そんな中、今年はお子さんの発達が気になっている母親の相談を3件受け、専門機関と連携し心の安定を図るとともに、次のステップに繋げることができた。

発達相談は個別の予約制での実施としたため、午後の広場を休室にしない等、今後も続けていくためにはいろいろと課題もあるが、相談を受けた方にはいつも利用している慣れた場所で落ち着いて相談ができたこと好評だった。

施設管理面においても、各所の修繕、ベビーカー置き場や自転車置き場の通り道等、実際に足を運んで視察していただき、利用者のためにできる対応をお互いに考えることができた。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

			評価結果
A	9名	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	A
B	0名	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	0名	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	0名	協働事業としてうまく機能しなかった。	

【事業に関するコメント】

別添により記入

【事業に関するコメント】

- ・本事業で設けられている「つどいの広場」のような子育て中の親子が気軽に集まる場は、有意義であり、また実際に子育てに悩むお母さんが多い中「つどいの広場」はこのようなお母さんの悩みなどに役立っていると考えます。本事業（委託料）の内訳が分からないので、その額が適当か否かコメントできかねます。
- ・市民団体が運営する「つどいの広場」事業としてはうまく機能していると思います。しかしながら、税金を使っただけの委託事業ですので、一か所での継続開催ではなく、他の場所での実施も考える必要もあるのではないのでしょうか。各公民館でも子育てサークルを行っているので、連携して出前講座的なことを行ってほしいです。
- ・こういう場が身近にあったら・・・と願う人は多いと思います。市民団体が運営する「つどいの広場」事業が6年経過しましたが、市内にもう1カ所増やすことはできないのでしょうか。1日平均35人位の利用者がいるということを強いニーズと受けとめるべきであり、行政に検討をお願いしたい。
- ・「つどいの広場」は各専門家による相談も行われており、子育て中の保護者の悩みを気軽に相談でき、素晴らしい事業だと思います。

協働事業評価シート

部課名	こども未来部 こども育成課
団体名	NPO法人川越子育てネットワーク

平成26年度

予算事業名	青少年育成体制の充実
-------	------------

新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
--

協働事業名称	子育て体験学習		
協働事業の概要	<p>市内公立中学校において中学生を対象に、「命の力」「命のつながり」を話し伝えることで、自己肯定感を高め、自己と他者を大切に思う心を養う。乳幼児やその親とふれあい、生まれてきたことに喜びを感じてもらおう。</p> <p>連続2コマの授業の中で、下記内容を実施する。</p> <p>■赤ちゃんゲストと交流体験（20分）・妊婦体験（20分） 50分</p> <p>■いのちってすごい(公益社団法人誕生学協会認定講師による誕生学®講演)50分</p> <p>ホームルーム等で ■アンケート（事前・事後意識調査）</p> <p>実施校：初雁、川越西、霞ヶ関東、東、霞ヶ関、福原、大東、野田、寺尾、富士見</p> <p>実施学年：1年生（福原）、2年生（野田、大東）、3年生（その他）</p>		
協働事業の決算額	350,000	円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成26年7月1日 ~ 平成27年3月31日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中前	5	5	5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中前	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	5	5	5
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	5	5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	35点
------	-----



○「いのちの講座」
妊婦体験の様子

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

市民活動団体においては、内容の検討や関係者への説明等を十分に行いながら事業を実施していただき、十分な成果を上げることができた。協働による実施により、市民活動団体の持つ高い専門性を活かすことができ、また行政と連携を図ることで相乗効果となり、効率的かつ効果的に事業を実施できたと思う。本事業は、学校及びPTAの評価が高い事業のため、実施を希望する学校が年々増加している。それにも関わらず、受講生が中学生で協力が乳児であるという特殊性から、夏季等休業日やインフルエンザ流行期間は実施できないため、事業の実施可能な期間が限定される。本事業が実施を希望するすべての学校で、継続的かつ安定的に実施できるように事業の見直しを図るとともに、学校及び市民活動団体との連携強化を図る必要がある。

【市民活動団体等】

協働での実施10校の枠に対して20校の希望があった。金銭面からの理由により実施できない学校もあり残念であった。川越市22校の中で大多数の開催希望があったことは、多様な家庭環境の中、揺れ動く中学生にこの「子育て体験学習」が必要とされていることを改めて感じることができる。今年度は、「自尊感情測定尺度（東京都版）自己評価シート」を利用して、子育て体験学習を通じ、自己肯定感（自尊感情）の変化を数値化するアンケートを実施した。実施校の平均をみると、学習前より、学習後の方が自己評価がアップしており、「自己肯定感」が高まっていたといえる。多様性という視点からは、父親のゲスト参加希望の増加が挙げられる。父親が1年間育児休暇を取っていたり、仕事を休んでボランティア活動に参加する父親の姿を見たり、父親から子育ての話を知りたがった生徒達が次世代の親になる。このことは新しい父親像をつくるきっかけになるであろう。感想の中にも自分が親になることをイメージしている生徒が多かった。まさに次世代育成だと感じる。交流体験や誕生学から「自己肯定感」「命のつながり」を感じた中学生と、賛同し社会貢献できたと感じる親子の双方に良い結果をもたらした事業だと評価したい。また、今年度は1学期から3学期まで年間を通し実施日を設けてみたが、親子にとって負担が大きい季節もあった。

協働委託の公募の形を取ると、契約が7月となり、実際に学校訪問ができるのは、2学期のそれも9月中旬から11月上旬という極めて限定的な時期に実施しなくてはならないのが実情である。一番動きたい5月、6月に1校も行くことができないのである。4年間の実績があり、毎年高い評価を頂いているにもかかわらず「協働委託事業」である限り公募選考の形式を取らなければならない。様々な「協働の形態」がある中で、この事業にふさわしい「協働の形態」は何なのだろうか。この事業は、行政・市民団体・市民が関わりをもつ協働にふさわしい事業だと思っている。今後多くの学校にこの事業を実施するためにも、年度当初に各学校の間スケジュールに組み込んでいただけよう工夫ができないものだろうか。実際、この評価シートがどのように活用されているのかが、見えてこないと感じている。高い評価をいただいても、次年度もまた一市民団体として公募で応募することになる。昨年度の実績が高かったものに関しては、委員会からの推薦により公募でない形で継続実施できるようにするなど、評価がどこかで反映されるシステムになれば実施団体のモチベーションも高まるのではないかと考える。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

			評価結果
A	9名	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	A
B	0名	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	0名	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	0名	協働事業としてうまく機能しなかった。	

【事業に関するコメント】

別添により記入

【事業に関するコメント】

- ・高い効果を上げている事業ですので、来年度随意契約にによることを検討してみてもはどうでしょうか。
- ・はじめて体験する授業にとまどいも多少あり、その反面興味関心を持って授業に入れたと思います。市内の中学校全部が授業を受けられたら素晴らしいです。
- ・赤ちゃんと触れ合うことで道徳を養い倫理観の醸成にも役立ちますし、中学生にはいじめや暴力についても考えるきっかけ作りになるのではないのでしょうか。
- ・これこそ協働事業の成果だとは思いますが、4年間続いてきたことであり、行政が教育委員会、学校などと連携して定着した事業とし、実施面のみを団体に委託するやり方に移行して良いのではないのでしょうか。命の大切さを身をもって体験することは、中学生にとって何時間もの授業に優るものであると思います。
- ・担当課と話し合い、日程作りをうまく進め、より多くの中学生に体験して頂きたいと思います。当該団体は、やる気満々と思われるので、担当課の采配に期待したいです。

協働事業評価シート

部課名	環境政策課
団体名	福原ファームクラブ

平成26年度

予算事業名	環境基本計画
-------	--------

新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
--

協働事業名称	かわごえエコツアー事業		
協働事業の概要	<p>「グリーンマップ」と、かわごえ環境ネット10周年記念誌「川越の自然」を活用しての環境スポット見学にプラスして事業所の環境への取り組みを見学する。</p> <p>市内の環境の現状と保全活動の大切さを学び自主的に環境活動に参加する人を増やすため趣旨に賛同した市民活動団体に協働委託して実施するものである。</p> <p>○実施日：平成24年11月19日（水）</p> <p>○行程：川越駅西口→川木建設→今福・山口邸・雑木林→川越運動公園→ヤオコー美術館・田谷堰→川越駅西口</p> <p>○参加者：22名</p>		
協働事業の決算額	93,000	円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成26年11月19日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中前	5	5	5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中前	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	4	5	4.5
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	5	5	5
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	5	5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	34.5点
------	-------



川越水上公園
 12:55~14:30頃
 講師
 川越水上公園ボランティア
 鈴木 圭治氏
 水上公園の植物について、水上公園のボランティアの方から説明を受ける参加者
 散策コースの最後には希少な昆虫を見つけることが出来ました。

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

協働事業は、それぞれの団体（民間・行政）が持っている利点や得意分野を活かした事業ができる制度であると考えております。

今回のエコツアーに関しましては、団体側が有している環境に関する知識やネットワーク、行政が有している広報力や市民からの認知度を一体化することによって、より高い次元での事業が実施できたものと考えております。

企画内容は、バランスよくバラエティに富んだ内容となっており、参加者からの感想をみても、質の高いよい事業が実施できたものと考えております。

【市民活動団体等】

11月の設定が遅かったのか参加者が少なかったのが残念です。

環境活動は派手なパフォーマンスがなく、地道なボランティアなので、口コミや、人の繋がりから参加者の増加を期待するモノです。市民ひとりひとりが「自分の出来る事」を考えて日常生活からの一歩を踏み出して欲しいので、ボランティア活動団体のあるスポットを訪問しています。

エコツアーならバスを使わず「歩いて」の提案もありますが、川越は広いし、エコポイントは点在しているので何カ所かを巡る場合はバスになってしまいます。事業所訪問もバスだからこそ行くことが可能です。

川越在住の市民が住んで良かったと思える「癒し」となる環境ポイントを増やすため、観光地化している中心部の環境ポイントの発掘を課題としています。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

			評価結果
A	7名	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	A
B	3名	当該協働事業について、課題はあるが、ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	0名	当該事業を協働事業として実施するには課題があるため、事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	0名	協働事業としてうまく機能しなかった。	

【事業に関するコメント】

別添により記入

【事業に関するコメント】

・ツアーへの参加者(22人)がやや少ない感じがするのが気になりますが、ツアーの計画内容はなかなか興味深いもので充実しています。自然は何にもしないと壊れてしまいますが、保全を進めるためには市民の環境に対する高い理解と関心が不可欠だと思います。そのような意味において本事業は有意義なものと考えます。

・市内の知られていない環境スポットを巡る場合、自転車を使うと行く人数も多少増えると思いますが、やはりバスでないと無理なのではないでしょうか。

・協働事業として行うメリットを活かし、対等な立場で開催できた点が良かったと思います。ただ環境活動に参加する人が増えたのかが疑問です。参加者の感想や今後はどうつながるのかがわかりませんでした。川越の環境が良くなるよう、多くの人に参加してもらいたいです。

・環境活動は大変地味な活動です。市民ひとりひとりが自分のできることを考えて日常生活に活かせるよう考える場、活動を続けてほしいと思います。

・環境の関連は一部の人が意識をもって取り組んでもうまくいきませんが、その中で川越グリーンマップを活用した事業は身近な中で環境を見直す良い機会だと思います。しかしながら委託事業としては参加者が少なく残念です。事業の周知の方法や実施時期の見直しが必要なのではないでしょうか。環境に関連する普及事業としてどうあるべきか、行政と市民との対話も重要ではないでしょうか。